



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.36

令和2年10月13日

文責：校長 伊藤孝行

PTAボランティアへのご協力に感謝します。

今年度のPTA活動にあたりましては、委員会の組織は行わず、活動が必要な際はボランティアとして協力いただける方を募って行うように会長さんが方針を示してくださいました。



PTA広報誌の発行に当たり、編集員のボランティアを募ったところ20名のご協力をいただくことができました。

運動会の駐車場係等のお手伝いボランティアへご協力いただける方は19名となりました。

お忙しいところ、PTA活動・教育活動へのご協力をいただき感謝申し上げます。

10/14(水)就学時健康診断を行います。

明日は、令和3年度新入学児童の就学時健康診断を高倉小学校さんと合同で行います。

今の時点では87名の子どもたちが健康診断を受ける予定です。現在の6年生が83名ですので、来年度は児童数が少し増える予定です。

【明日の日程】

- 12:00 児童下校 (全学年4校時終了)
- ※ 給食はありません。
- 13:00~13:30 就学時健康診断受付
- 16:20 就学時健康診断終了

放課後の過ごし方につきましては、子どもたちに以下の点を指導します。



- ① 自転車に乗るときは、ヘルメットを被り交通規則を守るようにする。
- ② 出かけるときは防犯ブザーを持つ。
- ③ おとなのいない家では遊ばない。
- ④ 午後5時までには家に帰る。

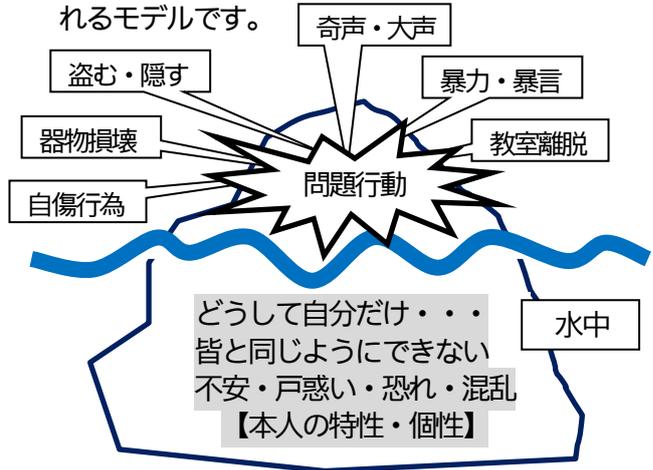
特別支援教育の考え方について。

特別支援教育というと、何か特殊な感じを受けますが、その対象者は全ての児童生徒です。

例えば、視力が悪ければ眼鏡やコンタクトを使います。耳が聴こえにくければ補聴器を使います。眼鏡やコンタクトを使う人や補聴器を使う人は特別な人ではありません。

今、子どもが困っている状態から生活しやすく学びやすいようにするのが特別支援教育です。

下の図をご覧ください。一般に冰山理論と言われるモデルです。



学校の中で、子どもが奇声や大声を発することや教室を飛び出すことは度々見られ、問題行動としてとらえられます。しかし、大声を出して先生に注意されたい子ども、教室を飛び出して先生に叱られたい子どもはいません。

大声なんか出したいくないけど、出してしまうのは子どもの心のSOSです。その背景には、不安や戸惑いがある、やむにやまねずの行動です。

一般にいわれる「問題行動」を起こす子どもの背景を探り、支援策を講ずるには保護者と学校の連携が必要です。どうぞよろしくお願ひ致します。

【本当に怖いのは二次障害です】

問題行動を注意され叱られ続けると、自己肯定感が下がり「どうせ僕なんか・・・」「私ばかり怒られる・・・」と、二次障害に陥り無気力になりさらに暴れます。そこから自己肯定感を回復させるには長い時間がかかります。そうなる前に適切な支援を行いたいと思います。